

04

生体信号に基づく笑い度推定

～笑いと言語の関係性に関する研究～



どんな研究

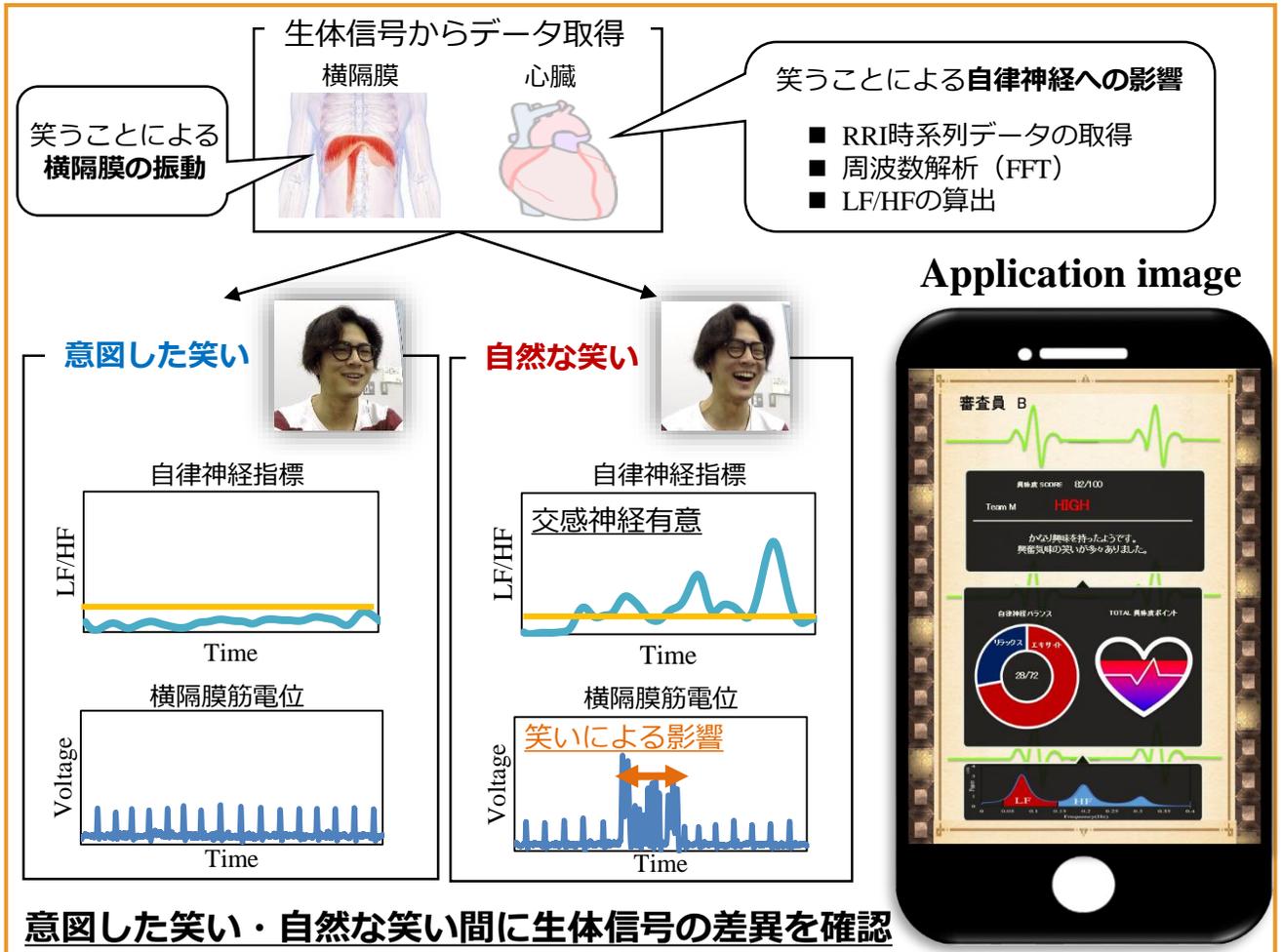
笑いには身体へ良い影響を与える効果があると言われています。笑い発生時における**生体信号**の特徴から**笑いの種類**をクラスタリングし、**数値化**することで笑いが身体に与える影響の度合いを可視化する研究を行っています。

どこが凄い

笑いといわれると**表情の変化のみ**に注目してしまうが、表情だけでは**意図した笑い**と**自然な笑い**の区別をすることができません。そこで、本研究では**無意識に変化する生体信号の特徴**に着目することで笑いを区別します。

めざす未来

笑いの種類や、程度を表す**アプリを開発**することでデジタルエンターテインメントの世界での活用や、**笑いによる健康管理**が手軽にできる環境を築きます。また、笑いの見える化を第一ステップとし、様々な**目に見えない感情**を**見える化する**ことを目指します。



関連文献

- [1] 志水彰, 角辻豊, 中村真, “人はなぜわらうのか 笑いの精神生理学”, 講談社, 1994
- [2] 木村洋二, “笑いの科学 笑いを肚から科学する”, 松籟社, 2008